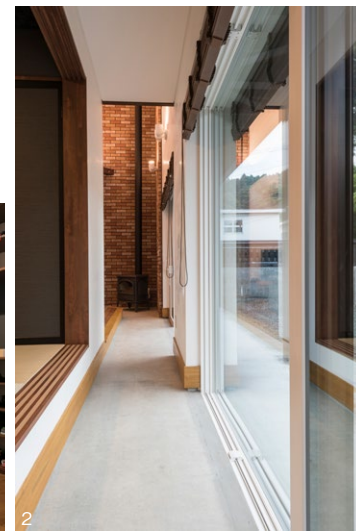




右頁、白漆喰の壁とナラの無垢材のフローリングが空間の清浄感を際立たせる。間接照明を選択し、夜は「暗さ」を楽しむ
 1. 地元の祭りにも参加するAさん。普段から来客も多く、土間から出入りできる和室はふすまを閉めればゲスト用の寝室にもなる
 2. 玄関からリビング奥の新ストーブへ続くコンクリート土間。昔の日本家屋のように外との繋がりを感ずる空間だ
 3. 玄関は壁で仕切り、家族用の大型シューズクロークを確保した。1階の壁は左官職人による美しい漆喰壁
 4. テラスなどの木部もダークトーンで統一、シックな印象が漂う外観。2階のデッキが庇となり夏の直射日光を遮っている



マイホームの相談を、以前から仕事上で付き合いがあった仲野谷工務所の仲野谷勝洋社長に相談したAさん。イメージが明確だったこともあり、仲野谷社長から「自ら設計してみてもいい」と提案されたといいます。「それで雑誌を集め、フリーソフトで間取りをつくりました。設計なんて初めてですが、技術や性能に関しては仲野谷さんに任せれば大丈夫だから、楽しみながらできましたね」。

そんなAさんが「ほぼイメージどおり」と満足する新居は、玄関を開けると職人技が光る漆喰の壁とコンクリート土間が目飛び込んできます。土間は右手のテラス窓沿いにLDKへ続き、最奥には新ストーブが設置されています。来客が多いというライフスタイルを考慮、リビングの一角に設けた和室は土間から直接出入りできる仕様としています。

住まいの中心のLDKは天井高約7メートルの吹き抜け空間。開放的なリビングの正面壁にはAさんご夫妻のコレクションアイテムを並べる大容量のオープン棚と2階への階段が配置され、ギャラリーのような雰囲気です。

キッチンとダイニングは使い勝手のよい並列配置とし、さらにキッチン背面にはバスルームから家族用クロゼット、そしてパントリーへと続く一直線の家事動線を設けました。ゲストが多い家でありながら、生活動線ではプライベートを確保しています。

大空間でありながら均質な温熱環境は高い性能の現れであり、冬はリビングで新ストーブの炎を見るのが楽しみです」と笑顔を交わすAさんご家族。施主の夢をプロが性能で実現した、極上の住まいです。

高い性能をベースに施主の夢を自在に表現
好きなものに囲まれて暮らしたい
夢を叶えた土間と薪ストーブの家

■仙北市・Aさん宅 ■家族構成／夫婦30代、子ども2人 ■設計・施工／(有)仲野谷工務所



4. つくり付けの棚を設置したキッチン。熱源はAさんのこだわりで都市ガスを採用している
5. 玄関からリビングを望む。右には和室、左にはキッチンがある。正面のオープン棚の存在感が空間の雰囲気をグレードアップ
6. 温水パネルヒーターによる全館暖房で、エアコンは冷房のみ。薪ストーブもパネルと同じ輻射熱で相性がいい



■仙北市・Aさん宅
■家族構成／夫婦30代、子ども2人

■建築データ
■構造規模
木造（プレカット在来軸組工法）・2階建て
延床面積／207.49㎡（約62坪）
■主な外部仕上げ
屋根／長尺HO葺ガルバリウム鋼板、外壁／ガルバリウム鋼板サイディング、建具／玄関ドア：断熱玄関ドア、窓：樹脂サッシ（トリプルガラス）
■主な内部仕上げ
床／ナラ無垢フローリング、壁／漆喰左官仕上 一部エコクロス、天井／エコクロス 一部秋田スギ板張
■断熱仕様 外張断熱＋付加断熱
基礎／押出法ポリスチレンフォームA種3b65mm、壁・屋根／アキレスキューワンボード50mm＋吹付硬質ウレタンフォーム60mm
■断熱・気密性能 U_a値：0.33W/㎡K、C値：0.29cm/㎡
■暖房方式 パネルヒーター

■工事期間 約5ヵ月

（有）仲野谷工務所

住所：仙北市角館町北野31-1
施工エリア：秋田県

TEL：0187-54-3198
URL：http://www.nakakou.net
E-mail：bcl00755@nifty.com

Concept

今回のように施主のイメージが明確である場合は、イメージを大切に機能や使い勝手などを組み合わせていくような家づくりをすることも可能です。ただ、住まいには「明るさ」「採光」「通風」「強度」などさまざまな要素が求められ、施主の希望に肉付けをしていくのがプロの仕事です。当社の基本は、外張り＋吹き付けのハイブリッド断熱施工とトリプルガラス、温水パネルヒーターの組み合わせで高い性能を出すこと。これにより吹き抜けなどオープンな空間が秋田でも可能になります。ハード面で妥協はしない、それが当社のスタイルです。



1. 「土間と薪ストーブと家族用クローゼットが最初の希望。洗面台や男性用トイレなどの希望も叶いました」とAさんご夫妻
2. 2階は家族のみが利用するプライベートゾーン。主寝室のほか子どもたちの部屋、トイレも設置
3. 来年1月に第3子が誕生。一番広い子ども部屋は将来的には仕切り壁を立てることも想定している

